

NPO法人 鹿児島技術士の会 講演会 (CPDS 承認)

1. 目的

最新科学知見・技術・産業動向等の講演を通して既存技術の革新を図るとともに、会員の自己研鑽を図る。

2. 事業計画

科学技術や産業をリードしている人材に積極的にアプローチして講演会の講師をお願いしている。講演会を通して、あらゆる産業の課題の解決に向けた技術的助言を行うとともに、支援と交流の輪を広める役割を果たす。

今回は、門松 経久 博士(農学)を講師に迎える。

3-1. 今回の内容

日時：平成 29 年 6 月 17 日(土) 14:00~16:00

場所：鹿児島市勤労者交流センター(よかセンター)

住所：鹿児島市中央町 10 番地キャンセ 7 階

定員：70 名

会費(会場・資料作成等)：一般 1,000 円

NPO 会員 700 円

学生 無料

申込先：NPO 法人 鹿児島技術士の会

鹿児島市田上四丁目 5 番 17 号(株式会社 郷土開発内)

TEL 099-214-5355

FAX 099-213-4791

E-MAIL t.ueno@uenojyo.com

(末尾の申込書にて 6 月 15 日までに MAIL または FAX でお申込みください)

(定員に達し次第締め切らせていただきます)

演題：「技術士がものするとは — 発信する使命 —」

講師： 門松 経久 (かどまつ つねひさ)
農学博士

3-2. 講演概要

農業の特性、農業工学の思想を不特定多数にも提供する。

技術士の多くは、科学・技術にかかわる専門分野において、一般にその成果や取り組みを論文やレポートで発表する。そうした中で、農業・農村の風景(農業の継続的な営みによって形成される)に現れる科学・技術的特性を踏まえて、環境・景観との調和を具体的に提唱する。一般社会にも理解できる著作の要件・意義を考える。講師の著書の中から技術的観点を取り上げる。

コロンブスの卵の南薩地域計画や、台湾における八田與一のダム・灌漑に発揮された独創技術などに触れた著書「かごしま農 36 景」など紹介。

4. 共催

鹿児島県技術士会

申込書

NPO 法人 鹿児島技術士の会 平成 29 年度講演会 事務担当行

E-MAIL : t.ueno@uenojyo.com

FAX : 099-213-4791

(平成 28 年 6 月 15 日締切)

(定員に達し次第締切)

氏名	所属	電話番号	メールアドレス